

The image is a composite of several elements. On the far left, large vertical Japanese characters '徒然草のまま' are written in a traditional style. In the center-left, a photograph shows a woman standing on a balcony with a railing, looking out over a scenic view of green hills and a blue sea under a clear sky. Below this photo is the caption '望洋の郷からの眺めは最高'. To the right of the photo is a large white circle containing a decorative border of colorful stylized flowers (chrysanthemums and petals) in shades of pink, yellow, and blue. Inside this circle, the text '十五年間の四季' is written in a large, elegant, black brush-style font. A black ink pen tip is positioned as if it has just finished writing the last character. The background of the entire image is a light beige color with subtle circular patterns.



望洋の郷からの眺めは最

隨想

「十五年間の四季」

私は今、金谷の「龍溪の館」として、
ケアハウスの一室に入居しています。
す。別に入居するつもりで来た訳で
はないのですがそこでまた、私の心
を「ギュー」と掴まれてしまつたの
です。この建物は小高い丘の上有
り、昔「秋月藩」の出城が有つたとい
われる所にある三階建ての建物で
三階がケアハウスになつています。
私の部屋からテラスに出ると、前
方に志布志湾が広がり、その先に大
隅半島が横たわり、季節ごとに少し
ずつ左から右に移り変わる濃い才

食いしん坊の私、この地に来て美味物にも出会いました。カサ「」のから揚げ、キビナ「」のお刺身、キンカノン、マンゴー。一人で一個食べられる贅沢もこの地ならではです。

でも良い事ばかりではありません。一番閉口しているのはマイカーくん。一番閉口しているのはマイカーくん。一番閉口しているのはマイカーくん。

ほしの まちこ
星野 磨智子(84歳)

1934年3月18日生まれ。東京品川で美容院を経営していましたが、70歳定年を決めてこの串間に移住。東京に子供3人、孫4人在住。

年の四季が今も毎日ゆるやかに過ぎていきます。あの日、この地に来なければならぬ用事があり一人羽田から富崎空港に降り立ちました。教えてもらつた通り油津行きのバスに乗り、窓からのどかな景色を見ていました。坂の上に出たとき、「ワアオー」目の前が海! 後日あの坂は堀切峠と知りました。湾曲した海の横の車道をくねくねといくつもいくつも通り過ぎて行く油津までの間、日本にこんなに素晴らしい所があつたのかと、海に見ほれ山に見ほれ遠くの船に見ほれています。

私は今、金谷の「望洋の郷」というケアハウスの一室に入居しています。別に入居するつもりで来た訳ではないのですがそこでまた、私の心を「ギュー」と掴まれてしまつたのです。この建物は小高い丘の上有

だ後の赤く染まつた山並みと駆、毎日違つた景色を見せてくれるので見飽きることなどある訳がありません。また、虹つて遠いビルとビルの間に半円形に出るものと思つていましたが、こんでもない。雨上がりのひとときに、目の前の湾から見事な大きな半円形に立ち登つてているのも、心を揺さぶられる瞬間です。

冬の寒い朝、薄い霧上のもやのような物が「もやもや」と海上に立ち登ります。名前があるのでしようが私にはわかりません。「何で云うのかなあー」。広いガラスに囲まれた食堂からは福島大橋が見えて、下方に金谷の民家が立ち並び、右側上部先には串間市民病院などが広範囲に見わたせます。8月の花火大会もおいしいお酒を飲みながらワイワイ楽しめます。

ないなんていう声も聞きました。また、串間の言葉が何回聞き直してもわからない事があります。地元の方が2、3人で話しているとほとんどです。一番初めに覚えた言葉は「ひんだれた」です。けれど昔から使われていた方言が若い人達に使われなくなり消えてしまふのは残念なことですね。

現在、私は十年位前からボランティアとして視覚の不自由な方に「広報くしま」を音声にして伝える「力ナリヤ会」に入れていただき、毎月十人以上の方と手分けして心をこめて1本のテープにして届けています。もし皆さまの近くにこのテープが役に立つ方がいらっしゃいましたら、このよつなテープがあることを知らせてあげてください。そろそろ「ひんだれて」きたのでこの辺で筆を置きます。



自治会長として地域貢献
神戸仁さんに総務大臣表彰

西今町自治会長として20年間の長きにわたり活動された神戸仁さんが「地縁による団体功労者総務大臣表彰」を受賞され、2月8日、表彰伝達式が行われました。15年以上の地域的な共同活動を通じて良好な地域社会の維持形成に顕著な功績があつたことが認められたもので、本市では2人目の受賞となりました。



TOP
くしままちづくり協議会に
手づくり郷土賞

旧吉松家を中心とした大正ロマンのまちづくりに取り組んでいる「くしままちづくり協議会」が国土交通省の手づくり郷土賞に選ばれ、2月13日に九州地方整備局の伊勢田敏局長から喜多会長に認定証が授与されました。郷土賞は地域づくりの優れた取り組みを表彰するもので、九州からは5件が選ばれました。



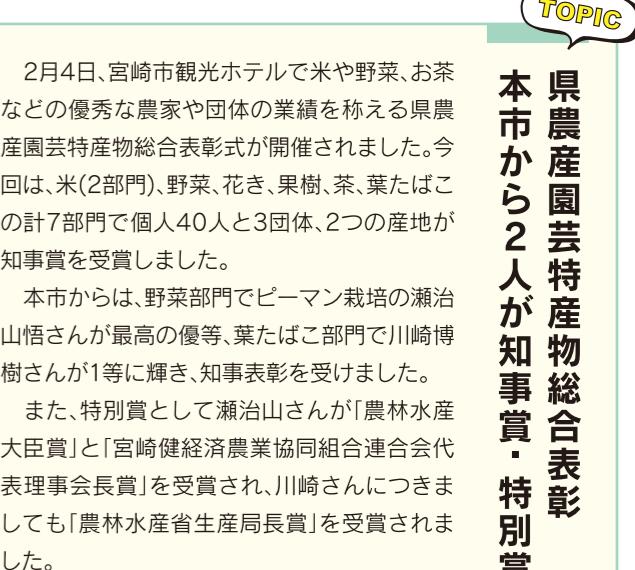
地域まるごと 支え合い推進シンポジウム

1月27日、住み慣れた地域で支え合いながら、安心して自分らしく暮らし続けられる串間の実現を目指すシンポジウムが市文化会館で開催されました。牧田総合病院地域ささえいセンターの澤登久雄センター長の講演や、市内における地域での見守り活動の事例発表が行われ、約220人が認識を深めました。



情報 アラカルト

串間で行われるイベントや
まちの話題まで、見逃せない
情報が満載です。



野菜部門 瀬治山悟さん(前列一番右)



葉たばこ部門 川崎博樹さん(後列一番左)